譋 低 主な音の であるが、予が囊にピアノと比較した時の調査の通り、 6. 次 は他 事を 鵙 高さは、 確 き始 0) 機會讓る事とする。 め 72 め ئح 仝 結 鳴納 年 論に は 才 めとでは、 達し 12 ガ たの ン さ である。 半音の 比 較して之を調べ 半分位、 尙 精密な 12 か

1 ン 0) 魚の文献

學博士 谷 津 直 秀

Dean, 3 Þ bibliography of fishes 1916, 1911, 1923

卷、

な 學 行 h 魚に 3 \bigcirc 7 を計 さへ有り b の力を借 者 補助 は 拞 クップァーの 第二號 不幸に 12 一大 ィ 闘する 一九一〇年なり。 b 及び 1 n 1 þ 年 ス 餘りに を一九 文献及 りて數多の ġ たれご幸に完了出版され ŀ 出版の承諾を得てより、 リーの弟子さして化 より 動 戦争の イ] 下に 7-物學者に新な一大寶庫を得たるの感あり、 其 ン 1圓口 仕 ス 0 び其カー 一七年に 出版を企てたり 開始せ 事 トマン 助 曲 即ちら 万に が 類 尨大となりたる為 析を經て終に第 0 第三卷 は より殆 ドを蒐集 ろ 發生を研 他界の ュ 年 1 より古典に 石 を昨 んご完成に近づきた 魚 3 たるは 助手と 人となり新に じ居 を學 1 L 究したる著者 年に 仕事に 'n 0) b び 魚學者のみ め完成を危 卷を一 出 米國博 たるが 共に ミュ 版する 實際 事 せ ン 九一六 業の は夙 ~ ン 助 B 物 化 手 事 舘 手 數 淮 る 石 ţ 步 九

配

者、 出さんと、 するかを求むる醫者、紋章學者 中 0 間 再生を研 宿生を知 原 始民 原體 の序に著 何にしろ蒐集の範 族 究 らんごする醫者、 0 んせん 有 風俗を記載する人類 する昆 者は云く此著に さする生理學者 蟲 を退治せ 回 より神學者まで材料 0) 患者に如何なる油 ょ 廣きは驚くべし。 h b 學 蛋 癌 どする 者、 の問 白 を研 題を取 人類 衞 生 寄生 官 する が 扱 消化 を見 蟲 ž 化

索引に 類學的索引にして生態、 及び一般的のものと一一八項に分ちたる索引、 七頁最後に內容索引あり區分して三編とす第一は形 航海探險五頁、魚及養殖に關 献一三五頁 八年のリンネの「システマナチ」リー」の第十版以前の文 第二卷の末さ第三卷の始めに渡り無名の文献七 列せるものなり 第 第三卷には其次に、 して第 第二卷は著者により文献を配列 あり、魚に關する一般の文献四頁、魚に關 第二の 追加二〇〇頁あり、續いて一七五 分布、 索引を再びアルファベット ずる雑誌、第一、二 分類學を含む、 せ る Ł 第二は 一卷の 第三は總 一二を附 0 o) 正誤 する 順 態學 なり 分

先 質に今後 非ざ 0 說 單に文献表のみならず諸所に數行時に半 れごディ 此書を足場として進むことゝなるべ 明あ 論 文として文献中に 3 は 關 使用者に最 する如何な ンの此著に あるは で便なり。 及ぶ る研究をなさんとするものも ક 一一〇なり。 從 Ď なく 來魚學文 l 著者 頁に 献 因 0 15 云ふ如 渡 書なきに 記 る内 す著

(443)

金魚(並びにフナ)に關する文献

生學士 平 岩 馨 邦

めて列記して置く Carassius auratus (フナをも含む)に關する文献を寄せ集先生の紹介された「ディーン の魚の文献」の中か ら金魚として今後金魚が用ひられる事が多からうと思ひ、谷津として ()

分類の部

般的のもの

BAECK, G.—1475—Zur Naturgeschichte der Diebel, Karausche od r des Giebes (*Carassuis vulgaris*)—Circul. Deutsch. Fischer. Ver., 1. Jahrg., No. 7, 388-389.

BULLEN, G. E.—1909—Notes on the post-larval development of the German or Crucian carp (*Carassius vulgaris*)—Trans. Hertfordsh. Nat. Hist. Soc., 14, 15-18.

CHARVET, P. A.—1826.—Explication d'une monstruosité observée sur le cyprin doré de le Chine.—Nouv. Bull. Soc. Philom. Paris, 1, 140-141.

—Bull. Sci. Nat. (Férussac), 13, 159-140.

LE COMPTE, I..—1698—Beschryvinge van het machtige keyserryk China, behelsende d'overg.oote provintien en menigouldige steden, paleysen, rivieren;....... etc.—2 vols. [in 1] The Hague, 398 p. figs. 4°.

LINNAEUS, C.—1740—Beskrifning om guldfisken och silverfisken.—K. Svensk. Ventensk. Akad. Handl., 2, 403—Mélange Hist. Nat. Dulac, 1, 13-25.—Hamburg Gel. Ber., 756-761.

PAP, J.—1871—Az arany ponty (Carassius auratus)—Természet, 3, pt 19, 183—187.

Anonymous — 1904 — Die Karausch (Carassius vulgaris) — Allgem Fischerei Zeitg., 29. Jahrg., 189-190.

ANONYMOUS—1834 - Ueber die Lebenweise des Cyprinus auratus.—Neue No'izen (FRORIEF), 39, 84-85.

出目金について

CARBONNIER, P.—1872—Sur la reproduction et la developpment du poissan telescope (cyprinus macrophthalmus), originaire dec la Chnie.——C.R. Acad. Sci. Paris, 75, 1127-1129—Bull. Hebd. Assoc. Sci. France, 11, 180-182.—Bull. Soc. Acclim.. Paris, 2. Sér., 9, 789-790.

---- 1872-Trois memoires pour servir à l'histoire zoologique du poisson de Chine, le Macropode.--Paris, 24 p. figs.

1873—On the reproduction and development of the telescope-fish of China.—Ann. Mag. Nat. Hist., 4. Sér. 11, 76-77.

形態の部

BADE, E.—1905—Die Schwanz. und Afterflossen des Schleierschwanzes Ilätt. Aquar.—Terrar. Kunde, 16, 74-77; 86-88; 96-93; 105-106.

BRICIDI, V. & TAFANI, A.—1831—Embrologia del Ciprinus auratus

-R. Inst. Stud. Sup. Prat. Perfez. Pubbl., Firenze, 1. Sér. 9, 115-192.

Ceresote, J.—1900—Eine neuer Bacillus als Epidemieerreger beim

Goldfische (Carassuis auratus)—Allgem. Fischerei Zeitg., 25. Jahrg., No.

CHURCHILL, E. P.—1916—Maze learning by goldfish.—Journ. Animal B. havior, Vol. 6, 247-255.

20, 368.—Zentralbl. Bakter. Parasitenkunde, 28, 305

ESSING, L.—1898—Dreissigjahriger Goldfische.—26. Jahresber. West-phäl. Prov. ver, 41.

FATIO, V.—1882—Histore naturelle des poissons (In his Fauna des vertébrés de la Suisse, vol. 4. 9 pls. Genève & Bâl, 1882-90. 786 p. 5 pls. 8°) p. 198—Review in Nature, 1883, 27, 220-221.

FISCHER, F. -- 1880 -- Zur Kaipfen-Bastad-Züchtung. -- Deutsch. Landw.